



福島

自然素材と技術を融合
想像力・技術力が
創造する新素材開発

トラスト企画

トラスト企画(福島県いわき市泉町下川字八合・宮野悦甫社長、0246・56・2776、<http://trust-planning.co.jp/>)は、産業廃棄物中間処理業者として、「処分・処理」から「未利用資源の甦生(さいせい)・活用・循環利用」へと事業内容を転換していくことが、循環型社会構築に向けた同社の使命であるとの思いから、さまざまな再生技術の研究・開発に積極的に取り組んでいる。

東日本震災後に挑戦している次世代につながる新事業の一つが、廃棄される貝殻や卵の殻を有効活用した抗菌素材(抗菌・消臭・防カビ・化学物質分解効果)の開発だ。野菜・果物といった生鮮食品の鮮度保持用として洗浄剤や容器などに利用し、食品の消費期限を延ばすことでフードロスを抑制する。また、病院や介護施設などの抗菌・消臭にも活用できる。

もう一つが、高反発の多機能クッション素材製造である。通気性・通水性に優れた衛生的に使用でき、リサイクルが可能という抜群の機能性により、医療、建材、生活用品など幅広い展開が見込める。有名デザイナーとタイアップしたインテリア・ファッション向け商材など多彩な

分野にわたる開発を進め、平成27年には自社ブランド「MIYAVIE(ミヤビエ)」を立ち上げた。テーブルやソファ、オブジェなどのインテリアを商品化し、首都圏の百貨店や海外で大規模な展示会を開催。国内外のファッション関係者からも注目を集め、有名服飾ブランドの店舗ディスプレイに採用されるなど高く評価されている。

そのほか、津波被災地でも栽培できる一年草のケナフから抽出した次世代素材セルロースナノファイバー(鉄の5倍の強度で重量は5分の1)や植物由来の難燃素材開発など、古くから自然が持つ力や特性を革新的な技術と融合させ、環境と社会、技術の関係が進化していくよう日々追求している。



年2回パリで開催。「インテリア業界のパリコレ」とも称されるデザイン関連見本市「メゾン・エ・オブジェ」への出展風景